

Original document

BAIBUREESHONDENKIKAMISORI

Publication number: JP51058167

Publication date: 1976-05-21

Inventor: MAEMOTO KAZUZO

Applicant: MAEMOTO KAZUZO

Classification:

- international: **B26B19/48; B26B19/28; B26B19/38; B26B19/00;** (IPC1-7): B26B19/28

- European:

Application number: JP19740130440 19741114

Priority number(s): JP19740130440 19741114

[View INPADOC patent family](#)

[View list of citing documents](#)

[Report a data error here](#)

Abstract not available for JP51058167

Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide

⑤ Int. Cl.²
B 05 C 5/00

⑥ 日本分類
24(7)E 1

⑨ 日本国特許庁

公開実用新案公報

⑪ 実開昭51-58167

庁内整理番号 7006-37

⑬ 公開 昭51(1976). 5. 7

審査請求 未請求 (全4頁)

⑭ 自動車等のウインドガラスの接着剤塗布装置

⑯ 実 願 昭 49-132053
⑰ 出 願 昭 49(1974)10月31日
⑱ 考 案 者 安藤芳夫
川越市霞ヶ関北6の27の3
同 内藤司郎
狭山市東三ツ木302の2
⑲ 出 願 人 本田技研工業株式会社
東京都渋谷区神宮前6の27の8
⑳ 代 理 人 弁理士 絹谷信雄 外1名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

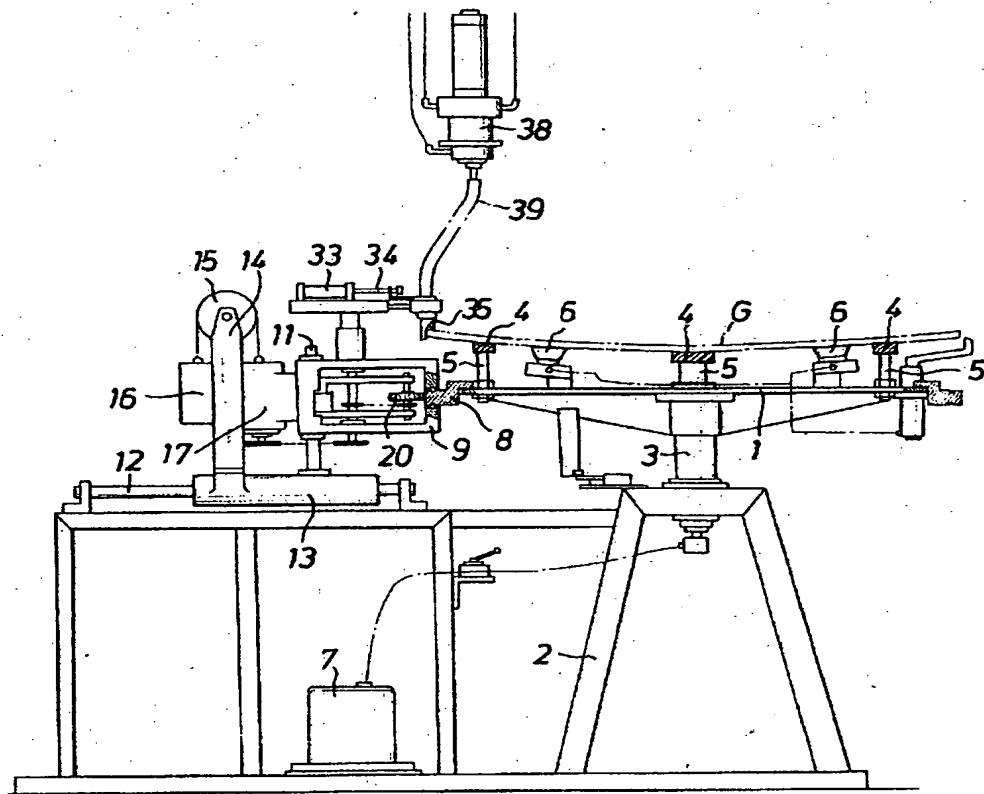
ガラスの固着支持手段を有し、外周にこの固着されたガラスの外周縁と等形状で形成された案内枠を圍繞設置した回転テーブルと、この案内枠を挾持し、これと係合連結して設定形状に応じて上

下・前後に追従する倣い手段と、この倣い手段に設けられ、前記ガラス外周縁に臨み、前記倣い手段の追従によつてガラス外周縁形状に追従する接着剤塗布手段と、前記案内枠に揺動自在に弾接し、これを送る駆動手段とからなることを特徴とする自動車等のウインドガラスの接着剤塗布装置。
図面の簡単な説明

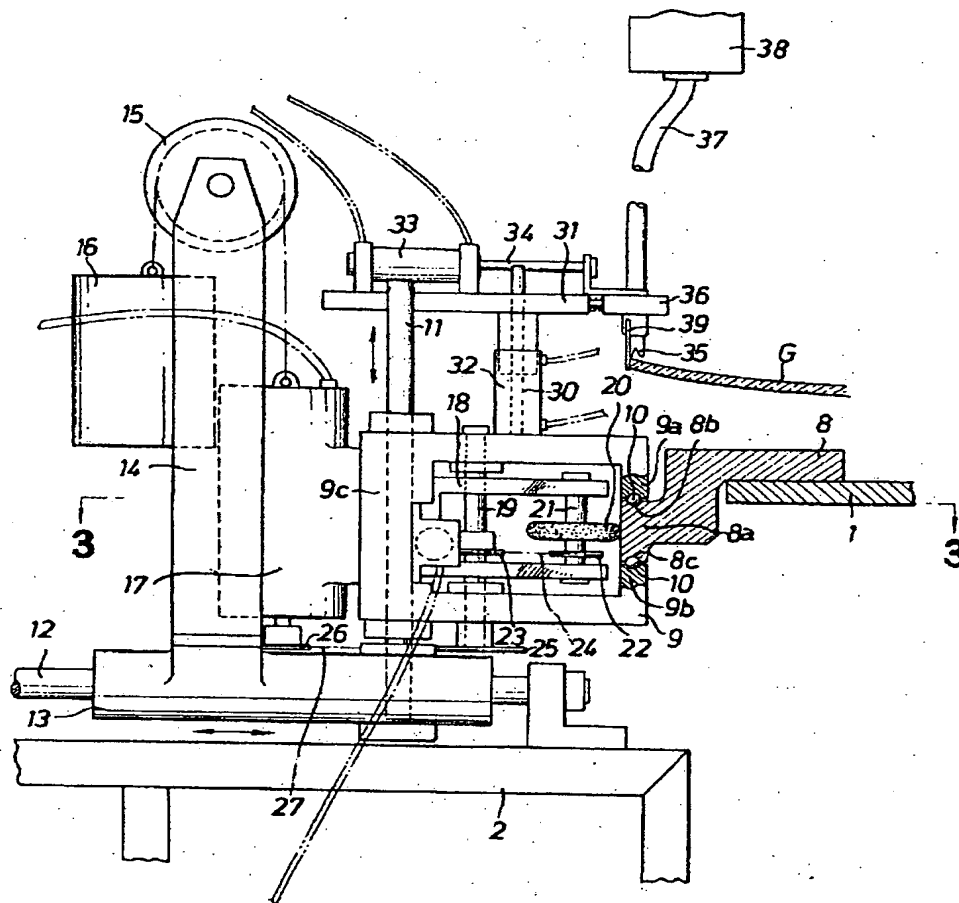
図面はこの考案の好適一実施例を示すもので、第1図は一部を破断して示す全体側面図、第2図は第1図の要部拡大図、第3図は第2図の3-3線断面図、第4図は第3図の駆動ローラの作動の経過を示す第3図と同様の断面図である。

尚図面中Gはテラス、1は回転テーブル、6はガラスの固着手段である吸盤、8は案内枠、9は倣い手段であるアーム、35は接着剤塗布手段であるノズル、20は駆動手段であるローラである。

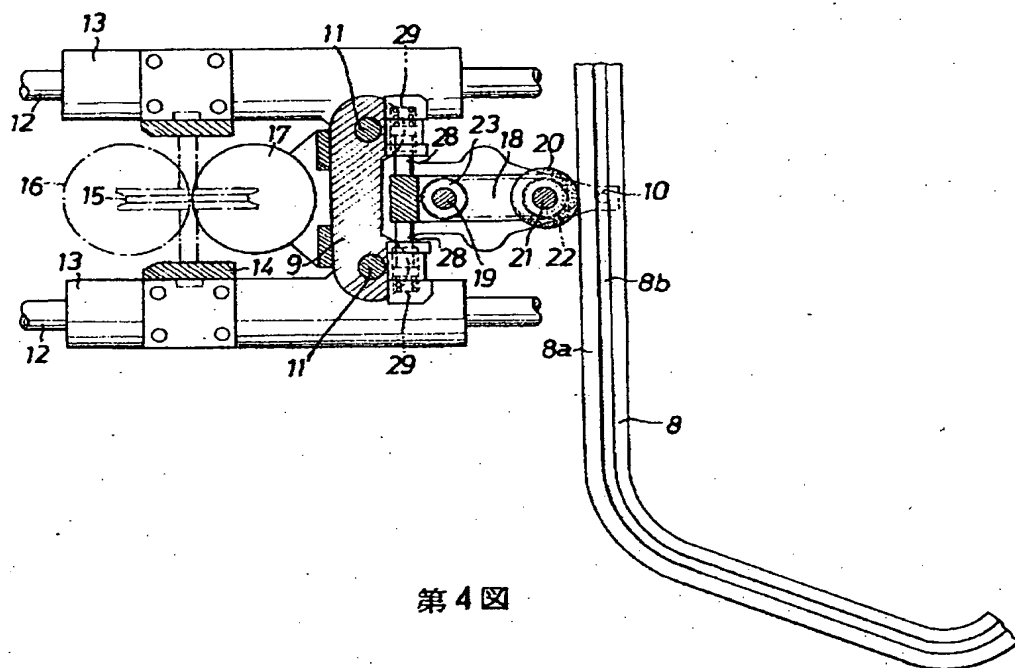
第1図



第2図



第3図



第4図

